

「第二回 エコテクノロジー・オンラインシンポジウム
—Pre-ICEM15 (International Conference on Eco-Materials 15) 」ご参加の呼びかけ

エコテクノロジー・キャラバン カリキュラム検討委員会
ETCCC: Eco-Technology Caravan Curriculum Committee

2021年1月29日(金)に開催された「第一回 エコテクノロジー・オンラインシンポジウム
—Pre-ICEM15 (International Conference on Eco-Materials 15) 」では多くの皆様のご参加を得て成功裏に終了することが出来心より感謝申し上げます。その際にお約束していた6月24日の第二回のシンポジウムを以下の要領で開催致したいと思っております。皆様から頂いていたご提言や、当方の不手際で第一回でお話して頂けなかった方々のご講演を予定しております。お誘いあわせの上、ご参加のお申し込みをお待ちしております。

「趣旨」菅首相の2050年脱炭素社会実現目標にもかかわらず、我国の持続可能社会実現に向けた動きは未だ鈍いといえる。その実現にはモーメントの大きい大都市よりも、小回りが利き実効性の強い地方から市民を巻き込むことが要である。再生可能エネルギーやバイオマス活用などの環境に配慮したエコ・テクノロジーは、その性格上地域分散が志向され、かつ都会では失われつつある地球や我が国の環境資源の活用という意味でも、地方からその適用が広まっていくことが期待されるものである。

しかし、その技術開発は都市部で行われ、主体になって担うことが期待される地方は、メディアからエコ・テクノロジーを受動的に知ることはできても、直に触れたり疑問点を確認していくことは困難であり、地元資源を優位に活用した地方創成にするのは難しい状態である。その問題を克服する一步として**環境科学リテラシーの確立**を目標に、いくつかの典型的なエコ・テクノロジーを取り揃えて地方創成を考えている現場に持ち込み、地方の人たちに直に触れてもらい環境教育と意見交換の場を作る本キャラバンの意義は大きい。

そこで当面、世界を席卷するコロナ禍での移動と三蜜を伴うキャラバンは避けつつ、オンラインシンポジウムを開催し、以下のような課題についても議論を深めたい。

- ・ テーマ1 環境はどうなっている
- ・ テーマ2 サステイナビリティへの流れ
- ・ テーマ3 エコテクノロジー全般を知る
- ・ テーマ4 エセ科学を見抜く目
- ・ テーマ5 地域・自然・人間そしてリテラシー
- ・ 紹介 エコテクノロジー・ショーケース

これまでも個別の技術開発者が地方に巡業し普及を試みることはなされていたが、環境教育と個別技術の切り売りではなく、SDGs、CNを踏まえた地方創生を起爆剤として全国的に**環境科学リテラシーを確立**する第一歩は急がなくてはならない。

本カリキュラム検討委員会(ETCCC)では、上述のテーマ等も参考に地域からの立ち上げが期待できるエコテクノロジーが、オンラインで結びつき広げられる素地形成を考えている。エコテクノロジーを開発

している方々のみならず、それをシステムの的に地方で展開しようという方々及びSDGs・CN・環境科学リテラシーの確立に関心のある方々の積極的な参加を期待する。

日時 2021年6月24日(木) 13:30-17:00 on ZOOM

第一部 13:30-14:00 エコテクノロジー・キャラバンと地域創成II

加納誠 NPO 緑蔭塾理事長

「人新世を生き抜く対話型地域創生：本物を見極める環境科学リテラシー」

~~~~~ Tea Break ~~~~~

第二部 14:00-16:00 われわれのエコテクノロジー

① 林明夫 サステイナビリティ技術設計機構理事

「温暖化で失われる藻場の資源循環による再生プロジェクト」

② 合田公一 山口大学教授

「自然が生み出すセルロースナノファイバーの可能性」

③ 篠原嘉一 物質・材料研究機構特別研究員

「熱を電気に!」

④ 井村章次 産業技術大学院 ERIS アジア情報文明研究院上席研究員

「ジョージタウン市のオーガニックコンポスト」

⑤ 小川和彦 千葉職業能力開発短期大学校准教授

「循環型社会構築を目指したエコものづくり体験教室」

Coffee Table Break

第三部 総合討論 16:20-17:30

話題提供

岡田譲謙 NPO 緑蔭塾事務局長

「アクティブラーニングを入れたハイブリッド・エコキャラバン」

お話頂いた方々で残って頂ける方々にご参加頂き、視聴者と共に一部二部を通した更なるご提言やご討論をお願い致します。特に、アクティブラーニングを入れたエコキャラバンカリキュラムについてご意見ご教示を頂きたく存じます。

参加方法：事前登録制による ZOOM 参加および Youtube 視聴 参加費無料。Coffee Table Break ではブレイクアウトルームを使い ZOOM 参加者間交流を考慮。ZOOM で参加される場合は最新のバージョンへの更新を事前に願います。

参加申し込み：[https:// ETC210624.peatix.com](https://ETC210624.peatix.com)

連絡・問い合わせ先：office@susdi.org (一社)サステイナビリティ技術設計機構

TEL FAX 029-846-5505